

報告

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10～18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・當眞・依久
安里・儀間・(神谷・大城ゆが)



◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	0 人	9 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・新規受け入れから、サービススタートまでにスタッフ間の情報共有できるよう仕組み作り⇒フローチャート作成を年度内に作成する
- ・日々のミーティングを勤務者がそろえる時間に調整し、定着させる。

前回の改善計画に対する取組み結果

・夕方のミーティングは定着しているが、サービス時間が多様のため、決まった時間に職員が揃うことが難しくなっている。新ケースの情報共有もスタート前に行っているが全員が参加できないことが多いので、部分的に共有できていないことがあった。
フローチャートの作成はしたが、上手く活用しきれなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	2	9	2	1	14
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	8	1	1	14
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いの声掛けや気遣いができていますか?	7	5	1	1	14
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	7	1	1	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用開始前にミーティングを実施し情報共有している。利用決定している場合、又は相談の段階でも経過報告している
- ・利用者へ声掛けを意識し会話している
- ・家族へ不安軽減のため、看多機施設内での様子や状態変化を伝えるようにしている
- ・利用開始時の介護者・本人の不安を軽減できるようにサービス体制・回数を柔軟に対応することができている

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・移動してきたばかりで業務に追われ、充分な対応ができていないと感じる
- ・コロナ禍で新規利用前に本人に会えないので、情報が不足していた、利用者像がつかめずにスタートする場面が多かった。
- ・日々の業務に追われる、記録に時間が取られる、などミーティング時間や職員間のコミュニケーション時間が十分に取れない状況があると思う。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・新規スタートのフローチャートは、活用できていないので、検討し、修正・改善をしていく。
- ・新規利用者の事前情報ファイルを作成し、ミーティング以外で、隙間時間にも情報が見られるようにする

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10～18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・當眞・佐久川
安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	4 人	0 人	14 人

前回の改善計画	・利用者の目標を共有 (看護小規模多機能型居宅介護計画書) ケア方法の統一 (個別ケア表) の情報共有するためのミーティングを定着させる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・職員みんな揃ってのミーティングは出来ていないが、担当者を中心に問題を相談し、個別計画を作成し共有した。 ・目標やケア方法の統一のため、情報共有のための (できた・できなかった) ミーティングは定着したが、話し合った結果、どうなったかの評価までできていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	1	8	4	1	14
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	8	4	1	14
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	6	1	14
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	2	6	5	1	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の目標がわっている人には、目標を共有し、目標に近づけるように意識しかかかわっている ・本人の～したいを職員が支援する姿勢がある ・泊りの期間に問題点を出し、自宅で過ごすことができるよう個別計画を立てている ・利用者の目標であった水彩画展を開催した ・モニタリングで短期目標は達成できていることが多い、日々のケアが出来ていると思う 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・言語的コミュニケーションがはかれない利用者の目標設定が難しい ・日々の業務を遂行することに追われゆとりがない ・定めた目標に向けて取り組みが出来ていないことがある ・状態変化が多く、目標設定が追い付かない ・チームアプローチがなかなか難しくできないことがある ・短期目標が達成から、長期目標へつなげるまでができていない 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・看護小規模多機能型居宅介護計画書を業務中にもすぐに確認できるように個別ケアファイルに表示する。計画に沿った看護・介護記録を実施し、ケアの PACD サイクルを実践する 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・當眞・佐久川
安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	6 人	5 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・ミーティングの内容を、職員連絡ノートに記録することを定着させる。
- ・新規受け入れから、サービススタートまでにスタッフ間の情報共有できるよう仕組み作り⇒フローチャート作成を年度内に作成する。
- ・介護職員へ介護技術のOJTを継続的に実施する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・新規受け入れからサービス開始までの期間が短く、情報も少ないため、受け入れ後に情報収集・共有することが多い。介護技術は、それぞれが必要になった時に見て学ぶスタイルになっている。医療的ケアは事前に看護師に情報やケア内容を確認している
- ・業務日誌での記録は定着し、連絡ノートでの情報共有を実施している（確認サインが抜けていることがある）
- ・日々の業務でOJTを行っている
- ・フローチャート作成したが、上手く活用できなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	0	6	7	1	14
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	5	6	2	1	14
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	2	5	6	1	14
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	8	0	1	14
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	2	10	1	1	14

できている点 200字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・ミーティングや電子カルテで状態変化を情報共有している
- ・本人の出来ること、できないこと、どのような支援を必要としているかをチームで理解できている
- ・口腔ケア、入浴を本人の状態に合わせ実践している
- ・誤嚥、ムセなどの症状に対し、食事形態を変え提供している
- ・ADL評価し、カバーオムツからリハパンへの変更したトイレ介助を実施している

できていない点 200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・自宅での生活環境を理解し把握しているつもりだったが、できていない部分もあった
- ・以前の暮らしの情報が不十分
- ・利用者の状態に介護技術が追い付いていないため、一人で出来ないことが多々ある
- ・チームとして統一したケアを行うことが出来ていないことがある
- ・メンバーシップ・リーダーシップがかみ合っていない
- ・本人のできること（ストレングス）を活かしたケアができていないことがある

次回までの具体的な改善計画

(200字以内)

利用者本人・家族のストレングスを活かしたケアを実践するために、看護小規模多機能型居宅介護計画書の基本項目として、「利用者本人・家族のストレングスを活かしたケア」をいれて作成・実践する

事-③

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・眞眞・佐久川
安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	1 人	12 人	1 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ感染予防対策を実施しつつ、可能な地域行事の参加を行い、地域資源を理解していく ⇒次回運営推進会議までに、末吉自治会、地域包括支援センターより情報収集し、計画書を作成する。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中で地域行事や地域資源などの情報収集できず、計画できなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	0	10	3	1	14
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	0	5	7	1	14
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	9	3	1	14
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	0	1	9	4	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者さん・家族との会話から家族や情報収集ができている ・利用者さんと家族との関りが希薄にならないようかかわっている ・ケアプランに包括支援センターや家族・友人など支援できることがあれば、組み込めるようプラン作成している 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍のため地域資源の把握ができていない。地域交流ができていない ・本人や家族が出来ていたことに、つい手を出しすぎて、できなくなってきていることがある ・ZOOM 等を活用できていない ・高齢者に地域とのかかわりが少ない、外に出る機会が少なくなると地域との関係性が薄くなっていく 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方への挨拶・声掛けを、継続していく ・包括支援センター松島と連携し、地域行事へ参加する (地域見守り隊への参加) 	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10～18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・當眞・佐久川
安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	8 人	6 人	0 人	14 人

前回の改善計画
 ・介護職の喀痰吸引、胃瘻注入の資格習得中、来年 2 月～3 月には、もっと多様なニーズに対応していく。
 ・新型コロナ感染予防対策を実施しつつ、可能な地域行事の参加を行い、地域資源を理解していく
 ⇒次回運営推進会議までに、末吉自治会、地域包括支援センターより情報収集し、計画書を作成する。

前回の改善計画に対する取組み結果
 ・介護職の喀痰吸引、胃瘻注入の資格習得中。すでに資格習得し実施可能な職員もいるため、医療ニーズに対応できてきている。
 ・登録喀痰吸引等事業者の登録が 8 月に完了した。
 ・地域資源の理解が出来ていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	1	1	1 1	1	1 4
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	2	1 2	0	0	1 4
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	2	1 1	1	0	1 4
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	8	1	0	1 4

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
 ・泊り・通い・訪問、本人や家族の状況や状態に合わせ、柔軟な対応ができている
 ・日々様子は毎日の振り返り時間(ミーティング)に実施し、その内容を申し送りノートに記載している
 ・訪問診療・訪問リハビリ・包括支援センター・福祉用具業者・医療機器メーカー・薬局と連携している(例:環境整備、車椅子変更、見守りなどの情報共有している)
 ・ターミナル期利用者の退院受け入れを積極的に実施した。コロナ禍での看取りの場として看多機を利用してもらうことで、(感染対策のもと)家族や親しいかたと最期のお別れをしてもらうことができた

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
 ・コロナ禍の自粛期間が長く、地域資源の活用や交流など実施できていない
 ・一人一人のニーズに合わせ、対応しすぎている点があり、手薄になっている部分がある
 ・訴えの多い利用者への対応に追われフロアの静かな方へのかかわりが後回しになったりする

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)
 ・新型コロナ感染拡大予防策を実施しつつ可能な地域行事の参加を行い、地域資源の理解を深める
 ・喀痰吸引等資格者を増やし、医療ニーズに対応していく

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10～18:30)

6. 連携・協働

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・眞眞・佐久川
安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	4 人	5 人	5 人	14 人

前回の改善計画

- ・施設見学や相談等は、施設内への出入りの際の感染予防策を実施し、受け入れる。
- ・新型コロナ感染予防対策を実施しつつ、可能な地域行事の参加を行い、地域資源を理解していく
⇒次回運営推進会議までに、末吉自治会、地域包括支援センターより情報収集し、計画書を作成する。

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・感染対策をしつつ、施設見学や相談を実施した
- ・地域資源の理解ができていない

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか?	2	0	6	6	14
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	0	1	2	11	14
③	地域の各種機関・団体（自治会、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか?	0	0	3	11	14
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	0	0	2	12	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・地域住民との日々の挨拶を実施している
- ・サービス機関の会議に、管理者・リーダー・ケアマネ・看護師が参加している
- ・管理者が地域ケア会議に参加した。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・コロナ禍の影響で地域交流やイベント参加がほとんど出来なかった
- ・コロナ禍のため、施設内への出入り制限が必要だったので地域住民が訪れられる環境がなかった

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・包括支援センター松島との連携を継続し、情報を得て地域活動へ参加する。情報発信する担当者を決め、は職員全体で共有する。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10～18:30)

7. 運営

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・當眞・佐久川
安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	6 人	3 人	3 人	14 人

前回の改善計画	・現在使用している職員連絡ノート、ワークシートの活用方法を定期的に見直し改良していき、職員間の情報共有不足を改善していく⇒日々実施する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・業務日誌、連絡ノート・ワークシート等の見直し・改良を行った。まだ家族からの伝言を報告し忘れていたりすることはあるが、改善できてきている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	3	4	7	0	14
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	11	2	1	14
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	1	9	4	14
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	0	1	6	7	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・連絡ノートやミーティングを活用し、その日のうちに情報共有している (家族からの意見や苦情は、連絡ノートに記録し情報共有、又は直接所長へ伝えている)	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍の影響で、地域の意見を聞く機会がなかった ・意見を言う機会として、定期的な個人面談がほしい ・事業所のありかたについて意見を言う場がない	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・利用者、家族、介護者からの意見や苦情の取り組み 利用者個別の申し送りが記載・確認できるファイルを作成する。ご家族からの意見や要望も、そのファイルを活用し日々記載し、情報共有する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10～18:30)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里 中村・嘉味田・西村・新垣・當眞・佐久川 安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	7 人	3 人	3 人	14 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・ウェブやリモートによる外部研修に積極的に参加する。 ・看護師主催による、疾患のミニレクチャーを計画、実施。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> ・疾患のミニレクチャーは、ミーティング内でその都度行っている ・資格習得のため、ウェブ学習を行った ・痰吸引、胃瘻注入の資格習得のため、実地研修中 ・看護師主体のミニレクチャーはなかった

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	0	10	2	2	14
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	2	8	2	2	14
③	地域連絡会に参加していますか	0	2	5	7	14
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	3	9	3	0	14

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・事故のないよう日々努めている ・介護職の喀痰吸引等 (3 号・2 号) 研修を実施している ・自己学習や研修に参加している 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・ケアマネ連絡会、小規模多職種連絡会からのメールで情報を得ていた。コロナ禍もあり、地域連絡会は開催されなかった。 ・利用者の医療的ケアや見守りがうまく出来ていない、病気に対する理解が不十分に感じる ・新型コロナウイルス感染対策のため、研修がほとんどできなかった 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
法人の介護職教育プロジェクトで企画・計画された研修を実施する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 3 年 11 月 10・11 日 (17:10～18:30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 呉屋・大城宏太・大庭・喜久川・宮里
中村・嘉味田・西村・新垣・當眞・佐久川
安里・儀間・(神谷・大城ゆかり)

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	9 人	0 人	0 人	14 人

前回の改善計画

- ・居室のドア窓にすりガラス様のシートを貼る。もしくは、防災用カーテンの残りで、ミニカーテンを作成する。⇒次回運営推進会議までに実施する。
- ・各職員のプリント置き場を設置する。⇒次回運営推進会議までに設置

前回の改善計画に対する取組み結果

- ・居室のドア窓にすりガラス様のシールを貼った
- ・職員のプリント置き場、レターケースを設置した

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	14	0	0	0	14
②	虐待は行われていない	13	1	0	0	14
③	プライバシーが守られている	8	6	0	0	14
④	必要な方に成年後見制度を活用している	2	0	3	9	14
⑤	適正な個人情報の管理ができている	9	5	0	0	14

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・身体拘束や虐待はしていない
- ・成年後見人制度を活用している利用者がいない
- ・入浴中はドアを閉め、オムツ交換はカーテンを閉めている
- ・個人情報はファイル管理している

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・個人情報の記載されたプリントが放置されていることがあった
- ・入浴時、ドアがきれいに閉まっていないことがある、入浴中の出入りが気になる
- ・フロアで難聴の方との会話が他の利用者へつつぬけ
- ・フロアの声が外に響いている
- ・個人的な話しを外に聞こえていないか気になる

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

定期的な身体拘束・高齢者虐待防止委員会の開催。
勉強会の実施。